

西日本支店長会

Branch

2018.7 No.439

Branch
西日本支店長会

2018年7月 No.439

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL092(711)5190 FAX092(711)5199 e-mail:shitenchokai@nishinippon-np.jp



「海辺に咲く」 撮影:百瀬 可達(古賀市在住)

西日本支店長会9月例会

日 時:9月11日(火) 12時~13時30分
講 師:九州大学 学術研究・産学官連携本部 准教授 博士(商学)
熊野 正樹氏
演 題:「九州大学起業部の挑戦
ー学生ベンチャーによる地方創生ー」
会 場:天神スカイホール

西日本支店長会10月例会(40周年記念例会)

日 時:10月11日(木) 16時~19時(予定)
講 師:歴史家・作家 加来 耕三氏
演 題:「明治維新から150年、現在そして未来を考える
~西郷隆盛を生んだ薩摩~」
会 場:ホテルニューオータニ博多 福岡市中央区渡辺通1-1-2

西日本支店長会特別例会

日 時:11月6日(火) 17時~(予定)
講 師:未 定
会 場:料亭「三光園」 福岡市中央区清川1-1-18

「西日本支店長会&パートナーズクラブ」 博多三大祭 宮崎宮 放生会幕出し

日 時:9月18日(火) 17時30分~
会 場:宮崎宮 清明殿 福岡市東区箱崎1-22-1

第8回県外視察研修(壱岐市)

日 時:10月23日(火)~24日(水) 一泊二日

タイをちょっと 知ってみませんか? ～歴史・文化・人々～

タイの総領事館が、大阪に次いで年内に福岡に開設されます。さらに同国の貿易センターと観光庁も福岡に設けられます。今後、観光や経済など、さまざまな面でタイとの結び付きが強くなるのが期待されています。

西日本支店長会5月例会は、タイ国政府観光庁大阪事務所PRマネージャーの富松寛考氏による「タイをちょっと知ってみませんか? ～歴史・文化・人々～」。親日の国と知られているタイの特色や経済、観光、歴史、食、宗教について語りながら、タイと日本の文化の違いについても触れました。当日の講演を要約して紹介します。(講演日:2018年5月15日)



タイ国政府観光庁
大阪事務所PRマネージャー
とみ まつ ひろ のり
富松 寛考氏

今年10月に開設予定でしたが、今、まさに場所探し中です。博多地区から天神地区の3カ所を絞り込んでいます。観光庁も別の場所を探している状況です。年内にはタイの機関ができます。総領事館は大阪に次ぐ2番目です。タイの大使館は東京にあります。

タイは、親日の国と言われています。もちろんベトナムも親日国ですが、タイは歴史においての長い関係、王室と皇室の関係の中での親日。ロングステイ財団の調査では、住んでみたい国では2位。マレーシアが1位の要因の一つが、長期滞在ビザが10年であること。タイは1年です。医療体制や交通アクセスは、タイは非常に整っています。バンコ

クはショッピング都市2位で、コストパフォーマンスが高い都市です。医療面ではタイには国際認証病院が41あり、今も増えてきています。日本の医療体制は日本人に対するマークットで、医療や介護の保険がありません。タイはそういう受け入れにも力を入れています。認証を取っているのは、すべて私立病院で株式会社。医療イコール、サービスです。患者さんいかにサービスを提供するか。病院にはマーケティング部門があり、日本やアフリカ系、中東系のイスラムなどにはどういうサービスが必要かと調べています。

タイを地理的に見ると、北にラオスとミャンマー、東にカンボジア、南にマレーシア。四つの国と接しています。縦長の国で、面積は日本の約1.4倍。人口は日本の半分強の7000万人です。

ベトナムは人口が伸びていて、若者世代が多く、これからの成長国と言われています。タイは若者の層が少なく、日本と同じように少子高齢化になってきています。これが、タイが抱える大きな問題です。

タイ政府は、バンコクの東に位置するチャチュンサオ県、チョンブリ県、ラーヨン県の3県を対象エリ

住んでみたい国で第2位

サワデー(こんにちは)。今日は、タイのお話をします。今年2月にタイのソムキット副首相が福岡に来て、福岡に総領事館を開設すると発表し、それに合わせて貿易センター、観光庁も再開することになりました。2016年1月末までは、タイ国政府観光庁がエルガーラの6階にありましたが、2年間ちょっと大阪に統括という形になっています。

今年10月に開設予定でしたが、今、まさに場所探し中です。博多地区から天神地区の3カ所を絞り込んでいます。観光庁も別の場所を探している状況です。年内にはタイの機関ができます。総領事館は大阪に次ぐ2番目です。タイの大使館は東京にあります。

タイは、親日の国と言われています。もちろんベトナムも親日国ですが、タイは歴史においての長い関係、王室と皇室の関係の中での親日。ロングステイ財団の調査では、住んでみたい国では2位。マレーシアが1位の要因の一つが、長期滞在ビザが10年であること。タイは1年です。医療体制や交通アクセスは、タイは非常に整っています。バンコ



いのちにアリガト④7

梅雨明けと共に蝉の大合唱が響きわたり
それは命の讃歌のようです

西日本の大雨、
今でも大変な状況にある方を思うと、
何と申して良いか分からず胸が苦しくなります

ずっと続いていることなのだけれど

今この状況だからより一層

生まれ出た時、命をたぎらせる時、辛い時、
嬉しい時、悲しい時、終わりを迎える時

生かされている時を意識します

命は一度

だからこそ、日々を満たしたい

心はいつも新しく日々生まれ変われます

どんな私でありたいか心に手を当て
聞いてみたいそんな朝です

(大国チオナ)

Branch

INDEX

2018
7
No.439

例会Report

「タイをちょっと知ってみませんか?
～歴史・文化・人々～」

タイ国政府観光庁
大阪事務所PRマネージャー 富松 寛考氏 …… 2～6

「日本の歴史はここ筑紫・博多・福岡から
始まった」

五十二萬石本舗・如水庵
代表取締役社長 森 恍次郎氏 …… 7～11

懇親名刺交換会 …… 12

7月合同例会
西日本豪雨で講演を急遽取りやめ …… 13

散り椿 …… 14

西日本支店長会関西OB会 …… 15～16

西日本支店長会・パートナーズクラブ
合同ゴルフ会 …… 17～18

九州人奔る …… 19～20

2018年度 西日本支店長会役員 …… 21

西日本新聞社
平成29年度西日本支店長会決算表 …… 21

事務局だより …… 22～23

アジア全体が動いていることが理解できます。

スコートイは、タイの焼き物の場所です。サンカロークという焼き物が、日本に入ってきてスコンコク焼となります。もう一つスコートイでなじみがあるのがウルトラマンです。スコートイの仏像の面長な像が、ウルトラマンの原型になっているのです。一番当初の面長なウルトラマンがスコートイの仏像と一致します。

南部はリゾートだけではなく、食品加工などのエリアです。ロシア人が多いのが南部です。国際空港のゲートも英語、中国語に加え、ロシア語で表記しています。

タイは地理的にも環境に恵まれていた国です。フランスやイギリスが周りを植民地にしたときに、不干渉地帯になったのがタイ。どこの国の植民地にならずに独立を守ったのは、いい意味でのタイの外交バランスです。これが今の海外とのやりとりでのバランスにもつながっているとされています。



タイ料理は四つの味が基本

タイ料理は辛いというイメージがありますが、誤解をされている部分があります。タイ料理は、辛さ、酸っぱさ、甘さ、塩辛さの四つが基本。この四つがうまい具合にバランスを取っているのです。

き、今日は火曜日だからピンクをアレンジすれば、タイの人との商談もスムーズに進むかもしれません。タイでは出家している僧侶は228の戒律を守っています。朝5時から起きて、お経をあげてから鉢に行き、そしてお経をあげて7時から食事をとる。そしてもう1回お経をあげます。12時以降に食事を取ることができませんので、12時前に食事を済ませます。

日本の宗教団体の人が来て、僧侶が結婚しているとかお酒を飲むと聞くと驚きます。そういう文化の違いを理解しておかないと、タイの人には逆にマイナス効果になることもあります。

気をつけないといけないのは、黄シャツと赤シャツの選挙でよく日本の方が「いや最終的には国王が出てきて治めた」と解説されています。それには違和感があります。あくまでも国王が出て来たのは、ある程度段取りがついたときなのです。采配的にあなたたちはこうしなさいとはしていません。

黄色と赤色というのは政治的な主張なので、タイの民主主義です。民主主義が日本やヨーロッパ、アメリカの基準とは違います。その国独特の基準があるのです。

グローバルの時代ですが、日本の方はどうしても日本基準で接してしまいがちな部分があります。30年前もそうですけども、進出してよく失敗するのが、タイの文化を知らないままに日本的に従業員に接してしまうことが挙げられます。タイの人たちにとって、人前で怒られるのが一番の侮辱です。日本的に「お前何やってるんだ」と部下の前で言うとか、メンツを潰したことになると思います。ときには、後で刺されるなど事件につながることもさえあります。データに出ない部分であるタイの人たち、タイの文化を知った上で接することが肝要なのです。

タイ人が年間100万人ほど日本に来ています。日本で見えたもの、

タイの人たちは、最終的に自分の味付けにします。タイラーメンは鶏ガラのスープですが、自分で辛さや甘さ、酸っぱさなどを加えて自分の味付けにします。作り手はあくまでも味付け前の最低限の味付けをするのです。

それで誤解が生じるかというと、タイではラーメンがブームです。訪日したときに自分でもう少し味付けをしたいということ、トウガラシや酢が欲しいと言う。日本の店は嫌がります。うちのスープは完成しているのに、なぜそこに味を付け加えるんだとなります。タイではそれが習慣になっています。タイではそれが習慣になっているので、自分なりのオリジナルの味にしたいというのを理解していただきたいのです。

最近日本のスーパーやコンビニでも、タイのものが増えました。特にパクチーが人気です。私たちには理解できないのですが、若い世代の人たちがパクチーをいろんな料理に入れていきます。タイではパクチーはあくまでも飾り。タイ語で「パクチーロイナー」(パクチーを盛る)ということわざがあります。誤魔化すということことです。パクチーは、盛れば盛るほど本来の料理の味を誤魔化して、香草で消すという意味があるのです。取り繕うという意味も

触れたものを付加価値として捉えることもあります。例えばイチゴのあまおう。1パック2000円のとときにタイで3000円で売っても、2000円の価値を知っているから3000円でも買う人が増えています。いわゆる中間層が増えているのです。

日本的な部分であるおもてなしは、いいものという考え方をしています。うちの店はこうだからと、あまりにマニュアル的なことを言うに敬遠されます。

旅館がヨーロッパの人を呼ぼうとしているときに、皆さんもご経験があると思うのですが、夕飯は何時にしますか、7時ですか、7時半ですか、最終は8時ですよ」と決められています。ヨーロッパの人たちは、夕食を食べるのは8時以降であつたりするので、おもてなしとホスピタリティを取り違えないようにしないといけないのではないのでしょうか。

相手の文化と日本の文化。相手の文化の見えない部分をもう少し知っていくことが、今後の交流だけではなく、いろんなことにつながると思います。

九州の福岡に新たに領事館ができることで相互交流が進もうとしています。各自自治体の方は「九州

あります。パクチーは、日本の刻みネギのような感覚なのです。それを誤解して、パクチーは体にいいと思っているようです。タイ料理は、酸っぱさの中にハーブが豊富なので体にいい。パクチーだけがいいのではありません。いい意味では、パクチーを通じてタイ料理への偏見がなくなってきたのは事実です。

曜日の色を大切に

続いて仏教について。曜日によって色があり、曜日の仏様がいます。日曜日の赤に始まり、月曜は黄色、火曜がピンク、水曜は緑、木曜はオレンジ、金曜は青、土曜は紫です。

タイガーウツズのお母さんはタイ人です。タイガーウツズが最終日に残ると、日曜日であれば赤のポロシャツを着ています。石川遼さんは、タイのゴルフ親善大使です。最終日が日曜のときは赤を着ることもあります。

タイの人たちは非常に色を大切にします。タイの人と商談をする

を、九州を」と言いながらも、中身は「福岡を、熊本を」です。もう少し全体的な取り組みが必要ではないのでしょうか。

タイの視察旅行もあります。今のタイはどのような状況なのか。もちろん悪い点もあります。それを含めて現地を見て、その空気を感ずってほしいのです。そのときは私を通訊として同行させてください。

福岡ではタイ駐在経験者のことそりとした会を開いています。年に2回程度タイ料理を食べてタイでの思い出話や情報交換をするような会です。もし御社の中で、うちの誰々がタイにいたよとかの情報があれば教えていただければと思います。



曜日仏と曜日色

タイ国政府観光庁
大阪事務所PRマネージャー
富松 寛考

1971(昭和46)年大分県生まれ。81(同56)年4月より、父親の仕事の関係でタイの小学校に通学。95(平成7)年福岡大学商学部を卒業後、バンコクのユニオン語学学校でタイ語研修。97(同9)年10月タイ国政府観光庁福岡事務所マーケティングオフィサー。2007(同19)年4月九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻入学。09(同21)年同修了。16(同28)年2月タイ国政府観光庁大阪事務所PRマネージャー、現在に至る。

津の菜畑遺跡と書いています。米作りは、ここ博多を中心にした北部九州から始まったのです。中国、朝鮮半島を経由して、博多を中心にした北部九州にさまざまなものが大陸から伝わってきた。古事記や日本書紀の舞台はほとんどが九州です。

お茶は脊振山の南で始まり、厚手の絹織物は博多織から始まっています。製粉技術が伝わったのも福岡です。魚の脂から菜種油、ろうそく、電気になった光の文化も、この辺りから始まっています。電力王と呼ばれた松永安左衛門さんも、彦岐出身で福岡に縁の深い人物です。

食文化、土器、土木や建築などの技術、文字、思想、仏教などは70%以上が、中国や朝鮮半島から北部九州に伝わったものです。もちろん、台湾や琉球などから伝わったものもあるでしょう。あるいはカムチャッカから北海道へ、あるいはウラジオストクから新潟へ伝わったものもあるでしょう。

遣唐使や遣隋使、遣新羅使は、ほとんどが福岡の西公園の突端にある荒津の浜から出発しました。いずれにしても中国、朝鮮半島は、日本の文化の恩人です。まさに中国は、日本文化の父であり母で

す。韓朝鮮半島は、日本文化の兄であり、姉です。歴史を少し紐解けば、すぐ分かることです。大恩人であるという歴史認識を持って、もつともつと仲良く、手に手を取って進んでいかなければ、日本の未来はないと思います。

新たな出会いから、創造が生まれます。福岡市博物館に展示されている国宝の金印の輝きは、その象徴です。

当時、中国では皇帝を頂点とする秩序に組み入れるために、周辺の異民族の王に印を与えました。『後漢書』の中に、西暦57年、後漢の初代皇帝の光武帝が、印綬を与えたと書いてあります。印文の「漢委奴國王」は、「かんのわのなのこくおう」と読むのか、「わな」と読むのか、私は「いと」と読むのが正しいと考えています。

金印のサイズは縦と横がそれぞれ2.3センチ、重さ10.8グラム。つまみは蛇です。蛇以外にも、ラクダ、ヒツジがあります。江戸時代の1784年4月12日、志賀島で甚兵衛というお百姓さんが水田の耕作中に偶然に発見しました。

黒田家に伝わり、1978年に福岡市に寄贈されました。明治維新後、黒田家が東京に移った際に、東京国立博物館に寄託されていた

ものです。寄託でなくて寄贈にしていけば福岡市博物館に帰ってこなかったかもしれない。寄託は所有権の移転ではなく、色があせないようにとか、虫が食わないようになど管理を託すことです。寄贈は所有権の移転です。

余談ですが、福岡市博物館に展示しているわたくしどもの菓子の木型の144本は、福岡市博物館に寄贈したものです。当時、「博物館のために、ぜひ寄贈してください」と言われて、うちに置いておいても使わんし、「どうぞ」と言って持って行ってもらいました。寄託という方法があることを説明してくれなかったので、寄贈してしまいました。大きな失敗でした。

この印綬は周りの二十数カ国にルールを決めて与えました。その一つは中国の皇帝による周辺属国への印の授与の規則性があります。金印はナンバー1の支配者に、銀印はナンバー2の支配者に、銅印は第3の支配者。まさにオリエンピックと同じです。

もう一つ、読み方の規則性があります。学校で習ったのは「かんのわのなのこくおう」でした。「漢」があつて、「委」があつて、「奴」があるの3段読みです。「かんのわな」、あるいは「かんのい」というように、

2段読みがルールなので、そうするべきです。

漢の皇帝に直属するのが「委奴（わな・いと）」の国ということ。日本を代表するナンバー1の支配者が近畿ではなく、博多湾岸、あるいは北部九州にいたという判断が自然です。

邪馬台国の近畿説の人は、中国から近畿に帰る途中に志賀島あたりで落とされたと言っています。大切な金印を落とすという事があるでしょう。か。邪馬台国九州説を一步進めて、九州王朝説が主張される由縁が、ここにあります。

白村江の戦い。これは、百済と委の連合軍が新羅と唐の連合軍に敗れた戦いで、再び攻め込まれたときの防衛のために基山、大野城、水城を築きました。勝った唐の軍隊が委の首都、今の大宰府政庁跡に駐留しました。すべての戦いは、勝った方が負けた方の首都に駐留します。その後、首都が大宰府から近畿に替わりました。大宝律令が制定された701年から、委を日本と呼ぶようになったようです。

ここ筑紫・博多・福岡には遠の朝廷と称された大宰府が置かれ、隣の朝鮮半島や中国、シルクロード地方から文化をいち早く吸収し、使節を受け入れ、使節を送り出

日本の歴史はここ 筑紫・博多・福岡から 始まった

西日本支店長会6月例会の演題は、「日本の歴史はここ筑紫・博多・福岡から始まった」。講師の五十二萬石本舗・如水庵代表取締役社長の森恍次郎氏が、古代から海外との交流の窓口であった福岡の歴史や特色、人物について語りました。

社名の由来となった黒田官兵衛(如水)についての思いは厚く、「利休七哲といわれるほど茶道を究め、詩歌、文学に親しみ四書五経など当時の最高の学問を学び、日本の諸葛孔明といわれる教養人」「神罰よりも君罰、君罰よりも民罰を一番恐れた民主主義者であり、一人の人間を大切にしたい人間主義者」と紹介しました。

(講演日:2018年6月21日)



五十二萬石本舗・如水庵代表取締役社長 森 恍次郎氏

最初にテレビの「もち浜ストア」の映像を見ていただきます。創業年について調べるもので、福岡市博物館が所蔵している菓子木型は、もともとは五十二萬石本舗・如水庵が使っていたということ。創業年は伝承では安土桃山時代の天正年間です。20年ほど前、福岡商工会議所から創業年の確定をという指示を受けて、いろいろ調べて天正15年にしましたが、現在は不明にしています。

創業年については3年がかりで調査をしました。7代前の1830年頃までたどれましたが、それ以前は言い伝えなので創業年を不明にしたのです。「黒田如水のような人になってほしい」という父の言葉と、黒田官兵衛(如水)の平和主義、文化主義、人間主義への深い共感から、販売会社を如水庵にしました。

大陸の文化が北部九州に

今日、お話ししたいのは筑紫や博多、福岡という呼び名があるこの地域は、日本と世界が出合っ交流し、新たな創造を生み出す先駆の土地柄であるということです。このポスターは1985年、私

が38歳、青年会議所のイベントで実行委員長をしていたときのものです。ランドサットから撮影したものを、北と南をひっくり返しています。「交流直流」をキーワードに、アジアの中の福岡というテーマでイベントをやりました。国対国の交流も大事だが、民衆対民衆の直流すなわち、となりまち外交こそ、これから求められているということ。青年会議所の福岡ブロックには2000名の会員がいて、それぞれが取材活動をして取りまとめ、当時の奥田八二福岡県知事と進藤一馬福岡市長に7項目を提言しました。アジア太平洋博覧会をはじめ、ほとんどが実現をしましたが、一つだけ実現していないのは福岡と上海の定期航路です。

私は学校で、米作りは静岡の登呂遺跡が一番古いと習いました。息子の教科書を見ると、福岡の板付遺跡です。孫の教科書を見ると、唐



青年会議所のポスター

す、先進の国際都市でした。筑紫館（つくしのむろつみ）、のちの鴻臚館は迎賓館兼宿泊所で、728年、大宰府政庁の長官（当時は外務大臣の役割）である大伴旅人が妻の大伴郎女を伴って赴任してきます。筑紫守（当時は県知事の役割）の山上憶良も一緒でした。

この2人は筑紫歌壇として、万葉集に多くの歌が選ばれました。これを背景に、万葉の詩がきこえる「筑紫もち」が生まれました。私の祖母が作ってくれた黄粉餅を商品化したものです。

旅人の奥さん大伴郎女が亡くなったときに山上憶良が大伴旅人になりきって詠んだ詩です。「大野山霧立ち渡るわが嘆く息嘯（おきそ）の風に霧立ちわたる」です。

鎖国以前は最大の国際都市

遣隋使、遣唐使、遣新羅使について。万葉集には、荒津の山（西公園）、荒津の岬、荒津の海、荒津の浜がたくさん出てきます。ここ荒津の港から出発して、ここに帰ってくるのが計画でした。4艘仕立てで行っても、1艘も着かない場合もあります。多くの優秀な日本の青年が海の藻くずとなって死んでいきました。大変な犠牲を払って最優

秀の青年たちを命懸けで派遣して、大陸の文化を学ばせたのです。

遣隋使は600年から615年まで5回行っていて、小野妹子が有名です。遣唐使は630年から894年まで20回です。第8回の702年に山上憶良が行くときは、前年（701年）の大宝律令制定により日本という国号を使っています。

第9回の717年は、阿倍仲麻呂。「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」という有名な歌があります。この歌は中国で故郷の奈良をしのんで歌ったと言われている事になっていますが、博多湾を出発したときの感動を歌ったのではないかと、という人もいます。春日という地名は宝満山の麓にあります。御笠川の源流が宝満山です。宝満山は、竈門山、御笠山とも呼ばれていました。奈良の三笠山は標高が低くよく見えません。だから三笠の山に出でし月かも」というのは、宝満山のことではないかと私も思います。

第12回の遣唐使は、754年。中国からの帰りは、4艘で出発して、1艘は和歌山に漂着。唐の僧侶であった鑑真を乗せた1艘は鹿児島



博多祇園山笠

乗って、祈禱水（甘露水）を撒いたのが博多祇園山笠の始まりです。

2016年12月1日、博多祇園山笠の山・鉾・屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。今年が山笠も博多織も777周年です。

博多織の技法は、博多商人の満田弥三右衛門が僧侶、聖一国師の随行者として南宋に渡り、6年間滞在して織の技法を習得して1241年に帰国して、織物の技法を伝授したと言われています。筑前藩主の黒田長政が徳川幕

た高僧が日本に来て、僧を名乗っている人たちが正式な仏教徒にしてほしい」と、日本からの若き遣唐使が鑑真に頼んだのです。鑑真は弟子に「誰か日本に行くのはいないか」と言ったのですが、捕まったら死刑ですから誰も行かない。じやあ、私が行こうと鑑真和上が決死の覚悟で、6度目のチャレンジで成功するのですが、そのときは目が見えなくなっていました。鑑真和上の決然と一人立った心境を歌った谷村新司の作詞作曲の大ヒット曲が「昂」です。井上靖の『天平の甕』は、鑑真和上の物語です。ぜひ読んでください。

18回の遣唐使が弘法大師（空海）で、福岡市博多区の東長寺は空海が開いた日本最初の真言宗のお寺です。伝教大師の最澄も遣唐使の一員でした。古賀の花鶴ヶ浜に漂着しました。大きな鶴が花のごとく舞っていて、けたたましい鶴の鳴き声で伝教大師が我に返り、経巻をまとめてすぐ近くの立花山を布教の拠点にしました。そこに独鈷寺があります。

菅原道真が「止めましょう。こんなに犠牲を出してまでする必要はもうありません」と言ったのが894年です。最後の20回は菅原道真によつて中止されました。

府に献上品として博多織を選んで毎年献上しました。これが博多献上の起源です。博多織は777周年のロゴマークを作成し、あらゆる事業で活用しています。「博多献上」模様のモチーフである独鈷、華皿、縞を分解し七の文字に再構成したデザインだそうです。

鎌倉時代に、元寇の襲来がありました。1回目は文永の役（1274年）で、このときはまだ防塁はありません。元軍が2万7000人と3万9700人という説もあります。それに対し日本は1000人。しかも戦い方が違います。鎌倉時代の武士は、「我こそは森の枕次郎なり」と名乗りを上げる間に、パンと鉄砲（火の玉）のようなものでやられ、一気に大宰府まで攻め込まれました。

このときは、謝国明が大活躍をしました。元のフビライは騎馬民族で、船は苦手です。そこで朝鮮や南宋の人たちを捕虜にして、日本に攻めてきたのです。そのときに謝国明が朝鮮で造船をしますが、仕掛けをするのです。謝国明の計らいで、船の碇石を落とすとひっくり返るように設計していました。同郷の南宋の船頭たちに暴動を起こさせて、博多湾に戻らせました。その時碇石を落して転覆させまし



菅原道真

遣新羅使は、668年から836年までの28回です。

古代から江戸幕府が鎖国をするまでは、福岡は最大の国際都市でした。そういうおもてなしの心が、福岡のDNAになっているのではないかと思います。最大の国際都市が、江戸幕府の鎖国政策によつて普通の地方都市に成り下がってしまった。しかし、今再びアジアの中の福岡になろうとしています。

うどん、そば、饅頭の発祥

次が平清盛・重盛親子と袖の湊。袖の湊は日本初の人工港と言われています。平清盛の命を受けた息子の重盛が袖の湊を整備。博多は貿易で大いに栄えました。

どんたくの始まりである博多松囃子は、1179年に死去した重

た。だから台風は来なかったと言いう事が事実だそうです。これは町内の歴史に詳しいおじいちゃんから、昔、聞いた話です。早く検証してもらいたいと思っています。

元がまた来るということで、今の津の浜から香椎まで約20キロを、筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、薩摩、大隅、九州九つの国の御家人、地頭たちが団結して、わずか5カ月間で防塁を築いたそうです。筑前では墓石や漬物石までも持つて行き、幅3尺、高さ3尺の防塁を完成させました。

いよいよ、2度目の弘安の役（1281年）です。元軍は14万とも15万とも16万ともいわれ、圧倒的兵力です。しかしこの時は、防塁が威力を発揮した上に、台風が本当にきて、日本は征服されずに済むわけです。

中世には進取の気性に富む博多商人がアジア各地との貿易を広げ、多数の外国人が住む町もでき、豊かな自治都市が築かれました。ろうそくを産業化して巨万の富を築いた神屋宗湛は、貿易でも巨万の富を築きました。島井宗室や大賀宗九と並び「博多の三傑」と呼ばれています。石見銀山を開発したのは、神屋宗湛の曾祖父、神屋寿貞です。

聖一国師が疫病の退散のため、施餓鬼棚という神輿（みこし）みたいなものに

福岡は官兵衛が名付け親

黒田官兵衛は、2014年に大河ドラマとして放送されました。如水庵と屋号を決めた40年前、福岡県立図書館に行つて官兵衛に関する本を二十数冊読み、私なりの官兵衛観を持つていました。

官兵衛は、14歳のときに母を亡くします。悲しむさまは尋常ではなかった。崇福寺の官兵衛のお墓に、4面にわたつて官兵衛の人生が漢文でびつしり書いてあります。一番信頼できる資料です。それを読むと、外で遊びまわる武芸達者な若者から、母が亡くなつてからは別人のように家に引きこもるようになりまし。母が好きだった古今和歌集をはじめ、日本の古典に母を求めて没頭し、ついには人生観を求め中国の四書五經にまでそ



黒田官兵衛

の回答を求めたそうです。悲しみから立ち上がったのは、3年後の17歳のときでした。このときに初陣を果たします。勝ちました。現実の戦いは残酷で悲惨なものでした。自らはかろうじて一命は取り留めたものの、側近幹部の何人かは死んでしまつた。その母親たちの悲しむさまは尋常ではない。母をこんなに悲しませる戦は、絶対に止めなくてはならないと誓つたわけです。

応仁の乱以来、戦乱が100年以上続き、民衆は塗炭の苦しみにあえいでいます。なんとか戦乱の世を終わらせて平和な世をと、母親の岩(イワ)をはじめ多くの母の願いをかなえることを、官兵衛は誓いました。信長に一日も早く天下を取らせて、戦乱の世を終わらせようと全力を尽くします。しかし、本能寺の変で、それはかないませんでした。次に秀吉に早く天下を取らせようと全力を尽くしました。しかし、それも残念ながらかなかったです。もう家康しかない、全力を尽くしました。島津を除く九州のほとんどを家康側にしたのもそのためです。そして、戦乱の世が終わつたのです。母の悲願を自分の悲願とし

て戦い続け、実現した官兵衛は「おもひおく言の葉なくてついに行く道はまよはじなるにまかせて」と詠んでいます。少しの悔いもない大満足の人生であつたという辞世の句を詠んで、見事な自己実現の人生を送りました。

官兵衛は天下を取ろうと思つていたのでしょうか。ほとんどの著者は天下を取ろうと思つていて書いています。しかし、天下を取ろうと思つている人が、荒木村重を救いたい一心で有岡城に単身で乗り込んだり、小田原攻めで秀吉の総攻撃を止めさせて単身で乗り込み北条氏政・氏直親子に講和を進めたりするなど、危険極まりない行動をするのでしょうか。

私はたいへん誠実な人で、天下を取ろうとは思つていなかったと思います。関ヶ原の戦いが長引いて、家康が大きく傷つき、どうしても天下を取らざるを得ないときは取つたかもしれない。戦乱の世を終わらせることが目的であつたら、自分が天下を取るといふことは第一目的ではなかつたのです。官兵衛は、血を流さずに勝つ事を第一としました。やむを得ず血を流さざるを得ない戦いに際しては、味方はもちろん、敵までも最小限の犠牲に留めることに全力を尽

くしました。

利休七哲といわれるほど茶道を究め、詩歌、文学に親しみ四書五経など当時の最高の学問を学び、日本の諸葛孔明といわれる教養人でした。さらに、神罰よりも君罰、君罰よりも民罰を一番恐れた民主主義者であり、一人の人間を大切にしたい人間主義者だと思ひます。私が社名を如水庵としたのは、官兵衛の平和主義、文化主義、人間主義に共感したからです。それまでは「出でよ坂本龍馬10万人運動」をやつていました。龍馬を超える人物だと確信したからです。

博多の地名の由来となつた歌を紹介いたします。「松むめ(梅)や末なか(長)かれとみとり(緑)たつ山よりつつく(続く)さとはふく岡(福岡)」。これが福岡の地名の由来です。現在は岡山県ですが、備前国邑久郡福岡に官兵衛は住んでいたのです。ふる里の名前を付けたのです。

五十二萬石本舗・如水庵代表取締役社長 森 悦次郎

1947(昭和22)年生まれ。70(同45)年九州大学経済学部卒業後、五十二萬石本舗代表取締役社長に就任。89(平成元)年如水庵代表取締役社長に就任。モンドセレクション最高金賞を受賞した「筑紫もち」をはじめ、数多くの和洋菓子を開発。現在、全日本洋菓子工業会理事、公益社団法人博多法人会副会長などを務める。

第2部は懇親名刺交換会

— 西日本支店長会の上谷会長があいさつ —

第1部となる6月例会・森悦次郎氏「日本の歴史はここ筑紫・博多・福岡から始まつた」終了後、第2部として懇親名刺交換会が催されました。

あいさつと乾杯の発声は、西日本支店長会会長の上谷隆氏(タカラストンダード㈱福岡支社 常務執行役員福岡支社長)にいただきました。

参加者は、それぞれに会話を弾ませて交流を深めていました。





ただ愛のため、男は哀しき剣を振るう――



9月28日(金)全国公開

岡田准一 西島秀俊 黒木華 池松壮亮 麻生久美子
 緒形直人 新井浩文 柳楽優弥 芳根京子 駿河太郎 渡辺大
 石橋蓮司 富司純子 奥田瑛二
 脚本 小泉堯史 原作 葉室麟「散り椿」(角川文庫刊) 音楽 加古隆

散り椿

監督・撮影 木村大作



7月合同例会

西日本豪雨で講演を急遽取りやめ 昼食後に新入会・初参加会員を紹介

7月6日(金)は、西日本支店長会とパートナーズクラブの合同例会。
 佐賀県知事の山口祥義氏を講師に迎えて「明治維新150年の節目に」と題して講演をしてもらう予定でした。
 当日は、九州北部は大雨で佐賀県を流れる嘉瀬川などに氾濫警報が出たことから、山口知事は県庁から離れることが出来ないうことで西日本会事務局に連絡があり、合同例会講演は急遽中止になりました。
 「講演が無い例会は、私が知っている限り初めてのことで。申し訳ありません」と西山事務局長。
 昼食が済んでから、会員の3分間PRが2社あり、その後、新入会と初参加会員を紹介しました。
 西日本支店長会への新入会であいきつをしたのは、新菱冷熱工業の小倉博九州支社長。
 会員変更後、通常例会に初参加は、西日本支店長会がキリンビールの中島信二九州統括本部福岡・佐賀支社長、永宮達矢商船三井フェリー九州支社長兼博多支店長、宮下俊郎日本銀行福岡支店長、宮本勝巳丸紅九州支社長、篠田正一三井住友海上火災保険理事福岡支店長、北村雄峰三井生命保険福岡支社長、永吉哲也リクルートキャリア九州営業部長の7人、パートナーズクラブは河部祐司九電工福岡支店福岡支社長と末本博にしいけ常務取締役営業本部長の2人。「博多祇園山笠の前に着任できてラッキーだったと思います」など、それぞれに自己紹介をし、7月合同例会は終了しました。



宮本勝巳氏 宮下俊郎氏 永宮達矢氏 中島信二氏 小倉博氏
 末本博氏 河部祐司氏 永吉哲也氏 北村雄峰氏 篠田正一氏



西日本支店長会 関西OB会 出席者

氏名	現職会社名	役職	現役会員時社名・役職
石田 能久	(株)ニシテック	ビルシステム事業部 営業部ソリューション部長	アズビル(株) ビルシステムカンパニー九州支店
伊藤 文章	福岡県 大阪事務所	所長	
上野 至大	NPO法人『ママの働き方応援隊』	会長	西日本電信電話(株) 福岡支店
奥田 昭一	(株)リジェンド・エンジニアリング	取締役	住友電設(株) 九州支店
押部 隆利	TOTO(株)	上席執行役員関西支社長	TOTO(株) 九州支社
勝 寛	大阪東急REIホテル	総支配人	(株)博多エクセルホテル東急
菊川 博士	阪和興業(株)	大阪本社 条鋼建材第一部 理事条鋼建材第一部長	阪和興業(株) 九州支店
北川 聡一	神鋼テクノ(株)	顧問	(株)神戸製鋼所 九州支店
住谷 安彦	DICグラフィックス(株)	大阪支店 西日本グラフィア営業本部長	DICグラフィックス(株) 九州支店
高江洲 文雄	(株)ミライト・テクノロジーズ	取締役相談役	西日本電信電話(株)
田中 信	オリックス(株)	西日本営業本部 理事副本部長	オリックス(株) 福岡支店
長谷川 秀彦	第一生命保険(株)	支配人 大阪北支社長	第一生命保険(株) 福岡総合支社
長谷川 隆一	(株)竹中工務店	大阪本店 常務執行役員	(株)竹中工務店 九州支店
丸市 佳永	三和シャッター工業(株)	中部・関西ビル建材事業部長	三和シャッター工業(株) 九州広域ブロック
森田 繁夫	英語講師(大学・小学校)		キャセイパシフィック航空(株)
山川 薫	共英製鋼(株)	理事	住友金属工業(株) 九州支社
渡津 弘己	(株)鴻池組	取締役常務執行役員 大阪本店長	(株)鴻池組 九州支店

●現職会社名・役職は2018.2.21時点 ●氏名50音順

西日本支店長会関西OB会



「西日本支店長会関西OB会」が2月21日(水)、大阪市のホテルグランヴィア大阪で開催されました。参加者はOB会員17名、新聞社から5名の22名でした。1年ぶりに再会する会員もいて、会場は和やかなムードに包まれていました。

最初に事務局が、現役員数が過去最多の257社になり活発に活動していることと、今年10月に本会を設立して40年を迎えるにあたり記念祝賀例会を開催することを報告。

その後、西日本新聞社からの参加者を紹介し、代表して、柴田建設社長があいさつ。1年を振り返り、天神ビッグバンの中心である大名小学校跡の再開発や、福岡空港の民営化、九州大学の移転跡地開発、博多ウオ

「ターフフロント構想などの行方に目が離せないことや、福岡ソフトバンクホークスの日本一などについて話しました。

乾杯の音頭は、関西OB会会長でTOTO関西支社上席執行役員関西支社長押部隆利氏。支店長会で繋がった縁が続いているこの楽しい会に感謝しよう、と乾杯の発声をされました。

会の後半は、参加者による近況報告です。各人、関西での仕事や福岡時代の思い出などを、関西らしくユーモアたっぷりに披露。会場は笑い声であふれていました。

近況報告の終了後はお楽しみ抽選会。賞品は、福岡の秋の風物詩、宮崎宮の放生会で人気のおはじきとちゃんぽん。抽選箱の引き手は、新聞社中満大阪支社長。大いに盛り上がりました。

最後は恒例の「博多祝い唄」3番と博多手一本。「博多祝い唄」1番は高江洲さん、2番は北川さん、3番は新聞社坂井営業本部長。高江洲さんの博多手一本で見事に締めました。





西日本支店長会・パートナーズクラブ 合同ゴルフ会 成績表 (敬称略)

賞	氏名	会社名	所属
優勝	吉田 弘	安川電機	支店長会
準優勝	田重田 博	富士ゼロックス福岡	支店長会
3位	勝山 正昭	佐藤工業	支店長会
4位	遠藤 信二	ファビルス	パートナーズクラブ
5位	深水 秋光	ミナミ商事	パートナーズクラブ
6位	徳田 瑞穂	ジュピターテレコム	支店長会
7位	吉野 哲也	日本コンクリート工業	支店長会
8位	細谷 茂	第一ビルディング	支店長会
9位	波多江 裕之	大和不動産鑑定	支店長会
10位	佐藤 邦弘	三井不動産リアルティ九州	支店長会
19位(当日賞)	松木 潤一郎	丸住製紙	パートナーズクラブ
24位(西日本新聞社賞)	杉本 義光	医療情報健康財団	パートナーズクラブ

西日本支店長会・パートナーズクラブ 合同ゴルフ会

「西日本支店長会・パートナーズクラブ合同ゴルフ会」を5月19日(土)、福岡市東区の福岡カンツリー倶楽部 和自コースで開催し、新聞社5名を含む80名が参加しました。少し肌寒い天候でしたが、1週間前に開催された「保険の窓口レディーストーナメント」の熱気冷めやまぬ名門コースで楽しくプレイされました。

栄えある優勝は、(株)安川電機 吉田弘理事九州支店長でした。ベストグロス賞は、佐藤工業(株)勝山正昭執行役員九州支店長でした。ベスト10内は、支店長会会員が8名、パートナーズクラブ会員2名でした。

トーナメント1週間後のグリーンには特に苦戦を強いられ、3パットをたたく方も多かったです。

ホールアウト後の佐藤浩司プロのワンポイントレッスンにも、多くの参加者が熱心に参加しました。



イスを受けておられました。次回のコンペで役立つと思います。

今回も、多くの賞品の提供を会員社様よりいただきました。誌上をお借りしまして厚くお礼申し上げます。お陰さまで、参加者全員が賞品をお持ち帰りました。

あらためまして、参加会員皆さまの協力で楽しいゴルフ会となりました。有難うございました。

今回は、政経懇話会と地域フォーラムを含む西日本会全体のゴルフ会を11月24日(土)、若宮ゴルフクラブで行います。多くのご参加をお待ちいたします。



「西日本支店長会・パートナーズクラブ 合同ゴルフ会」賞品提供社 (五十音順)

- アサヒ飲料 九州支社
- アサヒビール 九州統括本部
- 味の素AGF 九州支社
- イーストスポーツ 博多スターレーン
- 伊藤園 福岡支店
- ANAクラウンプラザホテル福岡
- 江崎グリコ 九州菓子食品統括支店
- エフ・ジェイホテルズ グランド・ハイアット・福岡
- 大分県 福岡事務所
- 大塚製薬 福岡支店
- オンワード樫山 福岡支店
- 加賀電子 福岡営業所
- 鹿児島県 福岡事務所
- カゴメ 九州支店
- キッコーマン食品 九州支社
- 麒麟ビール 九州統括本部 福岡・佐賀支社
- 麒麟ビバレッジ 九州地区本部
- 熊谷組 九州支店
- 熊本県 福岡事務所
- グリーンランドリゾート
- 月桂冠 九州営業部
- ゴルフダイジェスト・オンライン 福岡支社
- サッポロビール 九州本部
- Sansan
- ジュピターテレコム 九州・山口ブロック
- 商船三井フェリー 博多支店
- 西研グラフィックス
- 全日本空輸 九州支社
- ダイドードリンコ 西日本第二営業部
- タカラスタンダード 福岡支社
- 西鉄シティホテル 西鉄グランドホテル
- 西日本自動車
- 日本航空 九州支社
- 日本製紙 九州営業支社
- 日本たばこ産業 九州支社
- ニューオータニ九州 ホテルニューオータニ博多
- ネスレ日本 九州支社
- 博多エクセルホテル東急
- 博多座
- 福岡カンツリー倶楽部
- 福岡昭和タクシー
- 福岡ソフトバンクホークス
- ホテルオークラ福岡
- ホテル日航福岡
- 丸住製紙 九州支店
- 三好不動産
- 明治 西日本支社
- 森永乳業九州 営業本部
- モロゾフ 福岡支店



九州人 走る 27

九州人が、一直線に奔る。
目的のため、がむしゃらに奔走する。
時代を超え、壁を破り、走り抜いた人びと
その軌跡を辿る。

ほととぎす
「不如帰」で一世を風靡
とく とみ
徳富 蘆花 (1868~1927)



られて、新島襄が設立した同志社英学校に入学。兄と共に退学するなど、影のように連れ添って少年期を過ごしている。

「不如帰」で
ベストセラー作家

小説「不如帰」も兄・蘇峰が創立した「国民新聞」に連載、一世を風靡する流行作家となった。「不如帰」は「家制度」から生まれた青年男女の悲劇をテーマにして、日本人の「家(制度)の重圧」しがらみからの脱却、解放を説いた作品として、熱烈に支持された。

全国で開催された蘆花の記念講演会には聴衆が詰めかけ、熊本市の旭座の講演会には開幕前から千人を超える盛況(「蘆花全集付録」だったという)。

光と影を生きた兄弟

蘆花自身も大きな影響を受けた、兄・蘇峰への「決別状」を公開するなど、個人的にも「しがらみ」から自己解放した。兄蘇峰が「明治、大正、昭和三代にわたる天皇制日本の針路に癒着し、ほぼまず陽の当たる場面、光の部分ばかりを歩み続けた」(評論家・中野好夫)のに対し、蘆花は「その影の部分、負の面であった。維新後の新日本が、どうしようもなく造りだしていた歪みの部分を、時には俠気にも似たひたむきさで生き続けた」とし、維新後の日本を兄弟が光と影を象徴的に生きたと論じている。

生誕150年、元祖ベストセラー作家

今年(2018年)は明治維新150年。NHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」などで大盛り上がり、西郷隆盛のほか大久保利通、坂本竜馬ら英傑たちが「陽」のヒーローだとすると、徳富蘆花は「陰」、影花かもしれない。

維新後の近代国家づくりの中で残された封建制、家制度、男女差別などをえぐった大ベストセラー「不如帰」など蘆花の

作品は、戦後ほとんど読まれず、その名さえ忘れ去られた感がある。大ジャーナリストとして名が高い兄・蘇峰との確執など、私的にも「影花」的存在だった。

蘆花は1868年10月25日、徳川最後の将軍慶喜が大政奉還、日本が近代国家へ生まれ変わった年、熊本県水俣市に生まれた。兄・猪一郎(蘇峰)に連れ

歩いてきた」と書いている。

「謀反論」も

蘆花の意識には、家制度の向こうには天皇制があった。幸徳秋水の「大逆事件」(1910年)で天皇暗殺を企図したとして26人(12人執行)が有罪を宣告された時、蘆花は敢えて「謀反論」を説く(1911年、第一高等学校講演)。また「愛国、忠君、其れは君が説くに任ず。願わくば陛下の赤子をして飢えしむる勿れ」とも書き、常に下からの視点を保った。

兄弟の不仲は続いたが、58歳で蘆花が死の床につく。臨終の数時間前、兄蘇峰が病床を訪れ、全ての不協和音を流し去った。

「何一つ出来ぬ自分にも、拙いながら一筆の筆がある」。兄蘇峰の「大言論」とは対照的に、細い一筆の筆を信じ、生きた弟蘆花を、明治150年となる今年に読み返す意味はある。

敬称略(久保平)



昭和2年、病気の蘆花(中央)を伊香保にたずねた兄の徳富蘇峰

徳富 蘆花 ゆかりの地

徳富家旧家と記念館(熊本市中央区大江)

蘇峰、蘆花兄弟の父一敬が、水俣から熊本市に転居した木造平屋の旧家が保存されている。蘇峰は19歳でこの家で「大江塾」を開き、蘆花も塾生として学んでいる。隣接して、兄弟の記念館が建てられ、諸資料と兄弟の足跡を知ることが出来る。同志社で親交を結んだ新島襄が送った花木も庭にある。

畑仕事に精を出す徳富蘆花の写真もある記念館

三太郎峠のトンネルと蘆花

蘆花は生まれ故郷・水俣と熊本間をたびたび通っている。その間に天下の難所・三太郎峠があり、旧国道の改築に当たり、煉瓦のトンネルが掘削された。往復は馬車。「馬車は長い長い佐敷

太郎の坂を登り切った。上り坂の長い長い隧道がある(著書「死の蔭に」)。トンネルは土木学会推奨・土木遺産に登録され、トンネル入口の木柱に蘆花の一文が書かれている。

会員異動

三菱ケミカル株式会社
 理事役 九州支社長
山田 幹人氏
 (東京都出身)

太洋ヒロセ株式会社
 九州支店長
中山 泰氏
 (兵庫県出身)

エヌ・ティ・ティ・データ・
 カスタマサービス株式会社
 九州支社長
北西 智洋氏
 (石川県出身)

前任者 山本輝正氏はヒロセ興産株式会社
 取締役社長=東京都=へ

**株式会社
 リクルートキャリア**
 九州営業部長
永吉 哲也氏
 (神奈川県出身)

**株式会社
 東京ニュース通信社**
 西日本メディアセンター長
栗林 信雄氏
 (埼玉県出身)

鹿児島県
 福岡事務所長
田中 瑞穂氏
 (鹿児島県出身)

前任者 稲垣知哉氏は経営企画室担当次長
 =東京都=へ

株式会社菱和
 九州支店長
土井 浩太郎氏
 (福岡県出身)

日本銀行
 福岡支店長
宮下 俊郎氏
 (埼玉県出身)

**株式会社
 商工組合中央金庫**
 福岡支店長
藤井 和成氏
 (広島県出身)

丸紅株式会社
 九州支社長
宮本 勝巳氏
 (愛知県出身)

積水化学工業株式会社
 環境・ライフラインカンパニー
 九州支店長
後藤 康夫氏
 (三重県出身)

前任者 本郷孝博氏は丸紅エネルギー(株)
 取締役 専務執行役員=東京都=へ

新入会員

**株式会社よしもとクリエイティブ・
 エージェンシー**
 福岡支社長
泉 正隆氏
 (大阪府出身)

新菱冷熱工業株式会社
 九州支社長
小倉 博氏
 (兵庫県出身)

**株式会社フロンティア
 コンサルティング**
 福岡支店長
松山 雄大氏
 (愛知県出身)

●所在地/福岡市博多区中洲5丁目4-18
 ツイン・Kビル7F
 ●電話/092-261-7870

●所在地/福岡市博多区綱場町3-3
 福岡東京海上日動ビル4F
 ●電話/092-272-0831

●所在地/福岡市中央区天神1-1-1
 アクロス福岡3F
 ●電話/092-753-9744

役職名	氏名	会社名・団体名	所属・役職
会長	上谷 隆	タカラスタンダード(株)	常務執行役員福岡支社長
副会長	河野 健吾	鹿島建設(株)	常務執行役員九州支店長
	前田 隆	(株)梓設計	常務取締役執行役員九州支社長
	徳田 瑞穂	(株)ジュピターテレコム	常務執行役員九州・山口ブロック長
幹事	吉原 毅	(株)IHI	九州支社長(新任)
	北村 直樹	アサヒビール(株)	執行役員九州統括本部長
	若宮 廣祐	壱岐市	福岡事務所長(新任)
	渡邊 孝樹	加賀電子(株)	福岡営業所長
	田上 裕	基礎地盤コンサルタンツ(株)	取締役九州支社長
	三井 智	KDDI(株)	理事九州総支社長
	栗原 勇人	新日鉄興和不動産(株)	福岡営業部長(新任)
	前田 恒明	住友商事九州(株)	取締役社長(新任)
	波多江 裕之	大和不動産鑑定(株)	常務取締役
	宮下 俊郎	日本銀行	福岡支店長(新任)
	溝之上 正充	日本航空(株)	九州支社 九州・山口地区支配人(新任)
監査	松岡 正典	日本ユニシス(株)	九州支社長
	水村 慎也	三菱地所(株)	九州支店長
	大林 一裕	コクヨマーケティング(株)	執行役員九州支社長
特別会員	三浦 智彦	(株)船場	九州支店長
	小川 洋	福岡県	知事
西日本新聞社	大久保 昭彦	西日本新聞社	取締役営業本部長(新任)
	西山 健郎	西日本新聞社	西日本会事務局長(兼西日本支店長会事務局長)

西日本新聞社平成29年度西日本支店長会決算表

平成30年3月31日
 (単位:円・税込)

収入の部		支出の部	
収入項目	金額	支出項目	金額
前年度繰越金	4,051,146	講師関連費	341,646
会費	17,952,000	会場費	7,767,969
特別会費	2,556,284	制作費	2,978,590
広告収入他	6,048,000	通信費・交通費	852,614
その他収入	60,000	備人費	2,593,923
		会議費	521,183
		課外活動費	4,504,920
		事務費	45,544
		その他支出	5,557,508
		新春名刺交換会	1,800,000
		小計	26,963,897
		次年度繰越金	3,703,533
合計	30,667,430	合計	30,667,430

上記、収支表および関係書類を慎重に照合しました結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成30年6月11日

西日本支店長会 監査 船場 九州支店長

同

三浦 智彦
 三浦 智彦
 コクヨマーケティング(株) 執行役員九州支社長
 大林 一裕